

『資本論まなぶ会』に参加しよう！

★2024年4月の予定

日時・2024年4月20日（第三土曜日）・午後2時から4時まで

場所・大東市サーティーホール・公民館（最寄駅・JR東西線・住道駅から徒歩5分）

★内容

午後2時から3時までは、『資本論』第一章「商品」の第一節・「商品の二つの要因・使用価値と価値（価値実体・価値量）」の第5パラグラフから始めます。

午後3時から4時までは、『資本論』第3篇「絶対的剰余価値の生産」の第8章「労働日」の第二節「剰余労働に対する渴望。工場主とボヤール」の第5パラグラフから始めます。

★『資本論』を持参して頂くようお願いいたします（連絡いただければコピーは用意します）。

★会の様子

パラグラフ毎に順番に読み合わせをします。そして疑問を出し合い、議論し合い、理解を深め合います。

★参加費

会場代の300円です。

★会へのお誘い

3月は、公民館登録団体が主催する「一日体験」「ふれあい講座」に、新たな方が参加されました。その方は、「資本論は難しい」と何度も述べられていましたが、会の最後に次のような質問を出されました。それは「現代、政府が不景気対策として、国家予算の10倍を超える借金を日銀に対してしているが、大丈夫なのか？」というものでした。これに対して、そもそも不景気は、資本主義的な経済の行き詰まり無くしてはあり得ない、大量の国債発行によって一時的な景気対策がなされるとしても、資本主義経済の根本問題を解決するものではない、といった返答がありました。『資本論』は、商品経済の在り方の解明から始まって、貨幣経済、そして、資本主義的な経済の根本問題を明らかにしています。赤字国債の発行といった、一時的な解決策に止まらない資本主義経済の根本的な問題解決が、今、現在、求められています。

★主催・資本論まなぶ会

★連絡・080・3134・8150（携帯）・E-mail・spfu46s9@shore.ocn.jp（杉原）